

日本エム・イー学会平成13年度第4回理事会議事録

日時：平成13年12月4日（火） 12：00～13：00

会場：早稲田大学国際会議場

<出席者>

会 長：佐藤俊輔

副会長：上野照剛

理 事：稲田 紘，荻野和郎，梶谷文彦，神谷 瞭，楠岡英雄，辻岡克彦，保坂栄弘
星宮 望，堀 正二，南谷晴之，山本克之

監 事：千田彰一，戸川達男

大会長：内山明彦（第15回秋季），野瀬善明（第16回秋季）

特別委員長：岡田正彦（論文誌）

支部長：木竜 徹（甲信越），田中邦雄（北海道），中村政俊（九州）

幹 事：野村泰伸

事務局：高柳 建

<欠席者>

副会長：辻 隆之

理 事：安藤譲二，菊地 眞，佐藤正明，土肥健純，仁田新一，林紘三郎

1. 理事会成立が確認された。
2. 会員：入退会希望者リストが回覧され、全件を承認した。この結果、正会員5名増で3,567名，準会員2名増で311名となった。維持会員数は変動なしで36社58口である。（13-4-2）
3. 平成13年度第2回理事会議事録（13-3-3）が承認された。
4. 第42回大会長選出：楠岡理事より，北畠理事（北大医）を第42回大会長として推薦することが提案され，承認された。本人の承諾は得ている。尚，大会長の選出に関して，これまで明確な規定がなかったが，今後これを理事会の承認事項にすることが提案され，承認された。これに関して，稲田理事より，例えば東京開催の場合などは会場予約等かなり早期に準備を開催する必要がある，理事会承認では時間がかかりすぎる面（問題）があることが指摘された。このような問題が発生しないよう極力留意することとなった。
5. 企画：南谷理事より，ME教育，全国大学ME関連講座・講義課目調査に関して報告がなされた。本調査は，元々日本学術会議の医用生体工学部会（上野委員長）で調査しているものであるが，エム・イー学会として主体的に幅広く調査したいという目的の下で，国内に限らず海外5～6大学も対象に加えて調査を行ってきた。最終的には，調査結果に基づきMEの将来像も示したい。本調査に関連して予算30万円を申請している（承認）。調査結果は，学会ホームページに英文版も含めて掲載する方向で検討する。また，教育委員会等とも情報を共有し有効利用を図る。（13-4-5）
6. 選挙管理：辻岡理事より，平成14・15年度理事・監事候補者推薦結果が報告された。開票は平成13年11月16日に行われ，M系14名，E系9名が推薦された。今後は，投票用紙の配布（本年12月21日），投票締切（平成14年1月25日），開票（2月8日），理事会承認（3月15日）を予定している。（13-4-6）
7. 財務：保坂理事より，日本エム・イー学会平成13年度会計中間報告がなされた。これに関しては特に問題なし。また，平成14年度収支予算案が提出された。本案は12年度決算ベースで作成されたこと，補助金収入（学振科研費による研究成果公開促進費）が和文誌に対して停止されたこと，14年度は荻野賞を1件に限定すること，サマースクール補助，大学ME関連調査（本議事録5審参照）を計上していることなどが説明された。本案は3月の理事会で決定とし，それまで検討事項とする。問題点等は1月末までに事務局に連絡する。この時点で佐藤会長より，学会ホームページ運用費（広報）への配慮が必要ではないかとの指摘がなされた。（13-4-7）
8. 第40回大会：事務局高柳氏（鳥脇40回大会長代理）より，第40回大会決算が報告された。（13-4-8）

9. 第15回大会:内山大会長より,第15回大会の中間報告として順調に集客していることが報告された。脳研究,行動医療等,比較的従来のME学会大会で手薄と思われる分野の企画を,共催を含めて開催していること,本大会では一般公開セミナーは開催しなかったが,やはり開催した方が良かったと思われる点などが報告された。
10. 第41回大会:佐藤会長より,高橋第41大会長からのメールが代読され,第41回大会の準備状況が報告された。順調に推移している。演題の締め切りに向けて投稿が促された。(13-4-10)
11. 第16回秋季大会:野瀬第16回大会長より,第16回大会の準備状況が報告された。医療情報学連合大会と共催であり,周辺学会の動向調査,若手の啓蒙を目指していること,現在OS企画中であること等が報告された。(13-4-11)
12. 総務:楠岡理事より,長寿振興財団研究発表の件について報告がなされた。本研究発表は第15回秋季大会中に開催されるセッションで,財団からの依頼は,エム・イー学会との共催およびロゴマーク使用の可否の問合せであった。時間的な問題のため,メール上での理事審議で了承したので,今回は報告事項とする(13-4-12)。本件のようなメールによる取り扱いは特例とする。しかし,今後も,今回のような急を要する審議事項は,メール上で行うことを可とすることについては,今後の審議事項とする。これに対して,稲田理事より,理事会の審議事項を減らすためにも,担当理事の先決事項を明確にしたほうが良いとの意見が出された。
13. 国際:菊地理事から書面によって,シドニー後のワールド कांग्रेस(2006年)の開催地が韓国に決定したことが報告され,また2002年にシンガポール開催の कांग्रेसの案内がなされた。(13-4-13)
14. その他
 - (1) 上野副会長から,MEフォーラム2002が来年1月16日に山上会館で開催される予定であること等が報告された。タイトルは「発展する医用生体工学」。日本学術会議吉川会長,総合科学技術会議の井村議員の講演を予定している。(13-4-14①)
 - (2) 木竜甲信越支部長より,「日常生活における高齢者活動状態データベースの構築とデータからの健康状態把握法開発コンテスト」について案内がなされた。本コンテストは電子情報通信学会・MEとバイオサイバネティクス研究会野城委員長提案のもので,ME学会関係諸氏の参加を促すものである。(13-4-14②)
 - (3) 梶谷理事より,昨年度に引き続き,科研費特定に,フィジオーム関連の研究申請を行ったことが報告された。(13-4-14③)

(配布資料)

平成13年度第4回理事会議題

- 13-4-2 平成13年度第4回理事会入退会審査対象者
- 13-4-3 平成13年度第3回理事会議事録(案)
- 13-4-5 医用生体工学関連学科,講座,研究室及び医用生体工学関連の授業科目の調査
- 13-4-6 社団法人日本エム・イー学会平成14・15年度理事・監事候補者推薦結果
- 13-4-7 社団法人日本エム・イー学会平成13年度会計中間報告並びに平成14年度収支予算案
- 13-4-8 第40回日本エム・イー学会大会決算
- 13-4-10 第41回日本エム・イー学会大会予告(第3報)
- 13-4-11 2002年日本エム・イー学会秋季大会・医療情報学連合大会同時開催企画案
- 13-4-12 長寿振興財団研究発表会の件
- 13-4-13① 国際委員会資料
- 13-4-13② Call for abstract ICBME2002@Singapore
- 13-4-14① MEフォーラム2002「発展する医用生体工学」
- 13-4-14② 電子情報通信学会本部活性化資金への申請
- 13-4-14③ (追加資料)フィジオーム関連科研費特定領域申請資料